

宮古島市における重点的に整備すべき
観光地の主要インフラ整備計画

2020 年 3 月

宮古島市

目 次

1	観光インフラの整備の方向性	1
1-1	現状の全体的課題	1
1-2	本計画と観光振興基本計画.....	2
1-3	整備の全体的方向性.....	3
2	個別の主要インフラの整備案	4
2-1	インフラ整備対象一覧	4
2-2	インフラ整備対象マップ	5
2-3	個別の整備の方向性.....	6
3	スケジュール	27
4	計画の推進と進捗管理	28

1 観光インフラの整備の方向性

1-1 現状の全体的課題

21 世紀に入り、日本の観光産業は国の成長戦略に組み込まれ、「グローバル化」や「観光を通じた 6 次産業化」といった幅広い方向が模索されている。また、2018 年（平成 30 年）には訪日外国人観光客が 3,119 万人に達し、観光分野は関連産業の振興や雇用の拡大による地域経済の活性化などに大きな効果をもたらしている。

2017 年（平成 29 年）3 月に改定された「第 5 次沖縄県観光振興基本計画」では、沖縄県観光振興条例が示す観光の意義と県の特性を踏まえ、観光の振興によって真に美しい豊かな郷土の創出を目指す施策を推進するとともに、沖縄 21 世紀ビジョンで掲げる「世界水準の観光リゾート地」の実現に向けて、沖縄観光が国内外に広く認知される基盤を構築することを掲げている。

そうした中、2005 年（平成 17 年）10 月に宮古の 5 市町村が合併し、宮古島市が誕生し、2007 年（平成 19 年）3 月に策定された「第 1 次宮古島市総合計画」に基づき、2010 年度（平成 22 年度）から 2019 年度（平成 31 年度）までを計画期間とする「第 1 次宮古島市観光振興基本計画」を策定した。しかしながら、その後の本市の観光をとりまく環境は大きく変化した。

さらに、2015 年（平成 27 年）1 月の伊良部大橋開通や、2019 年（平成 31 年）3 月の下地島空港への定期便就航などをきっかけに、宮古島市を訪れる観光客の量と質は大きく変容する可能性が出てきている。今後もクルーズ船専用バースの供用開始、ホテルの新規開業増が見込まれている。

上記の背景から「第 1 次宮古島市観光振興基本計画」の計画期間を 1 年早め、2019 年度には「第 2 次宮古島市観光振興基本計画」を策定した。

昨今の入域観光客急増の状況の一方で、宮古島市の主要産業には大きな変化がなく、農業、畜産業、漁業などの第一次産業に限らず、小売業や製造業においても、観光客数の増加に比べ、この数年の業績はほぼ横ばいといえる状態が続いてきている。

その一方で、クルーズ船の増加によるゴミの問題や、観光地や海浜地区における駐車場のキャパシティオーバーの問題、自然景観の悪化など、宮古島市にとって好ましくない課題も増えてきている。今後の観光客数の増加を考えると、これらの問題は、市内の観光事業者にとどまらず、全事業者にとっての緊急課題であり、また地域住民の生活を脅かしかねない問題となる可能性もあることから、早期に対応策を検討する必要がある。

本計画は、上記の背景を踏まえた上で、宮古島市の「観光」をより発展させるために、観光地における主要インフラ整備について、基本的な考え方についての指針となるよう、策定するものである。

1-2 本計画と観光振興基本計画

本計画は、本市が第2次宮古島市観光振興基本計画で掲げる「みんなの宮古（みゃーく）を世界と未来に伝える美ぎ島（かぎすま）づくり」のうち、受入環境整備の中心となる計画であり、宮古島市の観光地の主要インフラ整備に関連する個別事業の総合的指針となるものである。観光振興基本計画では、宮古島市のあるべき観光振興の方向性として、以下の項目が掲げられている。

- （1）持続可能な観光振興
 - 1) エコアイランドの形成
 - 2) 次世代顧客育成
 - 3) 地域経済循環の形成
- （2）満足度の向上
 - 1) 多様なサービスコンテンツの提供
 - 2) 安全・安心・快適な観光地の形成
 - 3) 市民主体の観光振興

それぞれの項目の中でインフラ整備に関わるものとしては、以下の項目が挙げられている。

「エコアイランドの形成」

- ①宮古島、池間島、大神島、来間島、伊良部島、下地島、それぞれが美しい自然を守りつつ、世界に向けて誇れるエコアイランドを形成し、世界水準の環境保全を図る。
- ②市民と観光客が同じ立場で宮古島の自然の恩恵を享受する視点に立ち、島の美観や資源保全の意識形成と伝承を行う。
- ③海洋汚染や漂流ごみなどの課題に真摯に向き合い、次世代に誇れる行動規範を確立し、県内の離島の模範となる。

「多様なサービスコンテンツの提供」

- ①旅行目的の多様化や、今後増加が見込まれる富裕層など新たな観光客に向けた様々な観光サービスや受入コンテンツの拡充を図る。
- ②平良港のみなとまちづくりの推進と、宮古空港・下地島空港の活性化に向けた取り組みを行い、宮古島観光の玄関口として環境整備を行う。

「安全・安心・快適な観光地の形成」

- ①宮古島の滞在がより快適なものとなるよう、案内標識の充実や多言語対応など観光客の視点に立った快適性を追求する。
- ②災害に備え、観光危機管理計画を整備して、観光客の安全確保に努める。

「市民主体の観光振興」

- ①エコアイランドの住民として、市民自らがビーチの美観保全や清掃活動に取り組むことが観光客の意識を変え、島の環境保全意識を向上させるものととらえ、市民が主体となって環境維持活動に取り組む。

上記合計 8 項目の観光振興の方向性は、可及的速やかに整備計画として実行に移すべき喫緊の課題であり、上記の方向性に準拠して、整備計画を進める必要がある。

1-3 整備の全体的方向性

(自然/景観・住民・事業者の持続性、住民・観光客双方の満足度)

2019 年（令和元年）8 月に実施した「宮古島市の観光受入に係る主にハード面の状況調査」や「自然環境への影響調査」において、宮古島市の 18 のビーチや観光施設における整備課題を抽出した。ビーチ以外の観光施設においては看板等の多国籍化、駐車場、自動販売機、トイレなどの整備状況、および老朽化や新設設置の必要な設備等を確認し、ビーチにおいては、上記に加え水飲み場やシャワーなどの老朽化や整備状況を確認した。

駐車場等の整備においては、自然景観を損ねないような工夫が求められ、特にゴミについては、自然環境への影響を配慮した処理や取り扱いの方法が求められる。さらに、小規模のビーチの駐車場に関しては、駐車場整備のために駐車場周辺の灌木を伐採する必要がある、実施にあたっては、環境への影響を計算し、影響が許容範囲であることを確認することが重要である。

また、インフラ整備の実施が、住民や事業者にとっても持続可能な方向や方法で行われる必要があり、整備の結果、新たな負担を増大させるものであってはならない。ハワイ州の観光施策を統括する DMO ハワイ・ツーリズム・オーソリティ(HTA)は、取り組みの大きな柱として「レスポンシブル・ツーリズム」（責任ある観光）を推進している。ハワイ州への観光客数は 9 年連続で増加しているが、それに伴って地域住民の満足度が低下していることが課題となってきた。レスポンシブル・ツーリズムは、旅行者にも責任があるという考え方で、旅行者が地元の考え方や行動を共有し、尊重することで、地元根づいた観光が可能になり、本物のハワイアンカルチャーに触れることができるようになるという考え方に基づいている。本市においても、整備課題の解決策を住民や事業者に強いるのではなく、観光客にも応分の責任を分担してもらうという考え方に立った施策が必要となる。

さらに、インフラ整備の結果は、入域観光客の満足度向上につながるだけにとどまらず、住民と観光客双方の満足度を向上させることが必要である。観光客の増加により、レンタカー等の交通量が増え、交通事故も増加し、また、ビーチ等でのゴミ問題などが発生し、市民生活や事業者の事業展開に支障をきたしている面がうかがわれる。本整備計画の実施によって観光客の利便性が向上することは、観光政策にとって非常に重要な要素であるが、その結果、市民生活の快適性が担保され、事業者の負担を軽減する視点が重要である。市税を使って行われる整備である以上、観光客だけを満足させるものではなく、住民にとっても快適な市民生活を保障する整備計画である必要がある。

2 個別の主要インフラの整備案

2-1 インフラ整備対象一覧

インフラ整備が必要と考えられる 19 の主要インフラについて、現状調査の結果から、整備内容と優先度を整理したものが別表である。

地区	地図	主要インフラ	整備の位置づけ（優先度等） （種別A-G）	施設の管理者	必要な整備内容と状況
下地	1	前浜（港）	A 重要・緊急度高(目安1~2年以内に整備)	指定管理施設：市役所観光商工課 →（株）いちば。 R4年3月まで。県営公園予定地。	バス駐車枠の拡張、トイレシャワールの建替え。県営公園との調整が必要。
伊良部	2	17 エンド	A 重要・緊急度高(目安1~2年以内に整備)	整備を計画している通り池側は市有地。	駐車場の新規整備。他に規制・分散策の具体検討。
城辺	3	吉野海岸	A 重要・緊急度高(目安1~2年以内に整備)	指定管理施設：市役所観光商工課 →（有）パシフィックリゾート。 R4年3月まで。	トイレシャワールの修繕又は建替え。
下地	4	前浜（エスカーサ）	B 重要(目安3-5年以内に整備)	指定管理施設：市役所観光商工課 →（株）いちば。 R4年3月まで。県営公園予定地。	乗用車駐車枠の拡張、トイレシャワールの修繕。県営公園との調整が必要。
平良	5	熱帯植物園・体験工芸村	B 重要(目安3-5年以内に整備)	施設管理者：市役所観光商工課	施設入口前のバス駐車場の拡張及び道路に面した緩衝地帯の新規確保。接触事故等が起こる可能性あり。
伊良部	6	中の島海岸 （カヤッファ）	C 整備方針を検討	施設管理者：市役所観光商工課（予定）	現状は伊良部支所による路肩拡張でしのいでいる。離岸流がある。珊瑚礁の保全を念頭に伊良部地区整備計画の再検討。
伊良部	7	牧山展望台	C 整備方針を検討	施設管理者：市役所観光商工課（予定）	施設全体の老朽化に対する対応を検討。伊良部地区整備計画の再検討。
平良	8	砂山ビーチ	C 整備方針を検討	施設管理者：市役所観光商工課	乗用車駐車枠の拡張、トイレシャワールの建替えについて、民間開発計画との調整が必要。※民有地であり、補助事業の導入不可。
下地	9	竜宮城展望台	C 整備方針を検討	施設管理者：市役所農政課	駐車場の拡張、施設全体の老朽化に対するリニューアル、来間島自体の案内地図設置の検討。展望台は令和元年度、内外壁を塗装。農政課要調整。
平良	10	池間大橋 橋詰	C 整備方針を検討	施設管理者：市役所観光商工課	池間島自体の案内地図の設置検討、駐車枠のラインの引き直し、トイレの修繕又は建替え。
平良	11	バイナガマビーチ	D 早期着手可能	* バイナガマビーチ ・施設管理者：市役所都市計画課 * 海空すこやか公園 ・指定管理施設：市役所都市計画課→なかそね。R2年9月まで。	路上駐車が多いので、隣接の海空すこやか公園の駐車場との分担の在り方を検討する必要がある。都市計画課要調整。
城辺	12	イムギヤーマリンガーデン	D 早期着手可能	施設管理者：市役所農政課	路上駐車が多いので、第2・第3駐車場の看板サインを拡大する。
城辺	13	海宝館	D 早期着手可能	指定管理施設：市役所観光商工課 →（有）海宝館。 R3年3月まで。	保良川ビーチへの入り口の矢印サインの向き修正。 整備は案内板のみ。
城辺	14	東平安名崎	E 現状維持	施設管理者：市役所都市計画課	都市計画課要調整。
上野	15	ドイツ文化村	E 現状維持	指定管理施設：市役所観光商工課 →（株）南西楽園リゾート。 R3年3月まで。	
城辺	16	新城海岸	F 整備進行中	施設管理者：市役所観光商工課	
上野	17	トロピカルフルーツパーク	F 整備進行中	整備担当課：市役所農村整備課	農村整備課要調整。
平良	18	島尻マングローブ林	G 整備自体を見直し	施設管理者：市役所農村整備課	バイオトイレの廃止検討。
平良	19	フナクスビーチ	G 整備自体を見直し	施設管理者：市役所観光商工課	バイオトイレの廃止検討。

2-2 インフラ整備対象マップ

インフラ整備が必要と考えられる 19 の主要インフラを、マップ上にプロットした。地点番号の色分けは、前ページの表の優先度による色分けである。



2-3 個別の整備の方向性

No.1 施設・地区名[前浜(港)]

概況 現在、大型バス 11 台、乗用車 25～30 台分の駐車場が整備されている。クルーズ船入港時は、約 20 台の大型バスが滞留し、既存駐車場に入りきらず、A 地点にバスの止め置きが発生する。B 地点でパーラー移動販売車が数台営業している。

方向性① 乗用車の駐車スペースに余裕はある。

方向性② バスの駐車スペースは、県営公園整備完了までは、今後も高い頻度で不足することが予想されることから、整備が必要である。令和 2 年 2 月、図の市有地（点線部分）にバス 15 台分程度の駐車場を暫定的に整備し、供用開始している。

方向性③ トイレ・シャワーの再整備等については、県営公園整備と合わせて検討する。

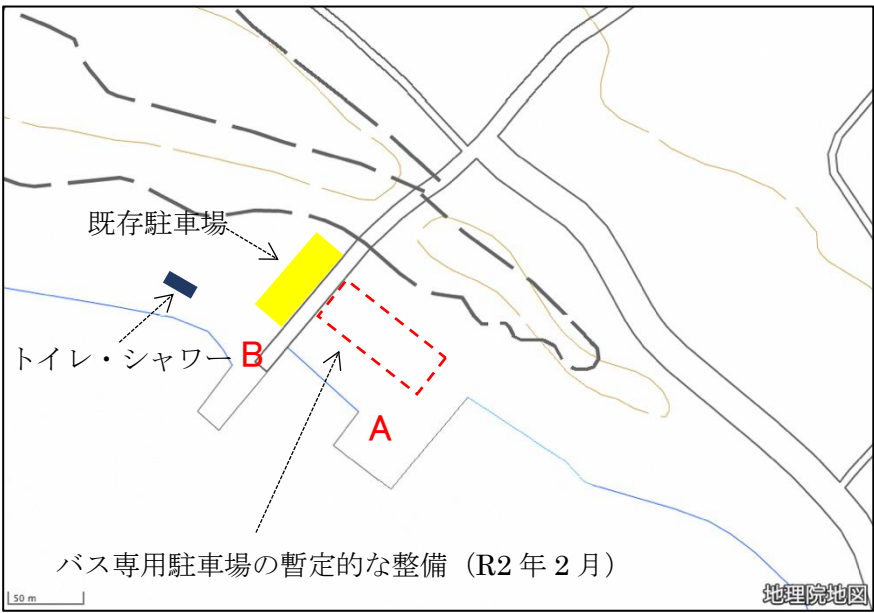
土地状況① 市有地（暫定バス駐車場）を含む周辺区域において、都市計画決定を経て、令和 2 年度より県営公園として事業化予定。



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
駐車場（バス）	11 台分	○	
駐車場（乗用）	25～30 台分	○	
暫定駐車場（バス）	15 台分	○	
自販機	2 台		
トイレ	1 箇所	△	
水飲み場	0		
シャワー	男女各 3 基	△	



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

(仮称) 宮古広域公園 完成イメージ



No.2 施設・地区名[17 エンド(西側のみ)]

概況 現状は路上駐車であるが、車の止め方のマナーは良く、夏季の多い日で 20～30 台程度が駐車している。

方向性① 乗用車、バス合わせて 25 台分程度の簡易駐車場を新設する。

方向性② トイレは整備せず、通り池のトイレ利用を促す。

土地状況① 自然公園法の適用地のため、簡易な駐車場整備を行う(令和 2 年春完成予定)。



出典：国土地理院 基盤整備地図 2500 分の 1 を元に作成

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
駐車場（バス）	0	×	
駐車場（乗用）	0	×	
自販機	0		整備予定なし
トイレ	0		整備予定なし
水飲み場	0		整備予定なし
シャワー	0		整備予定なし



出典：国土地理院 基盤整備地図 2500 分の 1 を元に作成

No.3 施設・地区名[吉野海岸]

概況 トイレ、シャワー（屋内 2、屋外 2）、有料駐車場（約 50 台分）が整備されており、指定管理で運営されている。トイレ、シャワーは設備が老朽化しており、施設も手狭なため、早めの改善が求められる。観光客は有料駐車場を利用し、指定管理業者がビーチまで送迎を行っている。ビーチ近くに無料駐車場があるが、地元漁業関係者等が主に使用している。

方向性① トイレとシャワー施設が老朽化しており、修繕が必要。施設の経年劣化等の調査を行い、建替えを検討する。

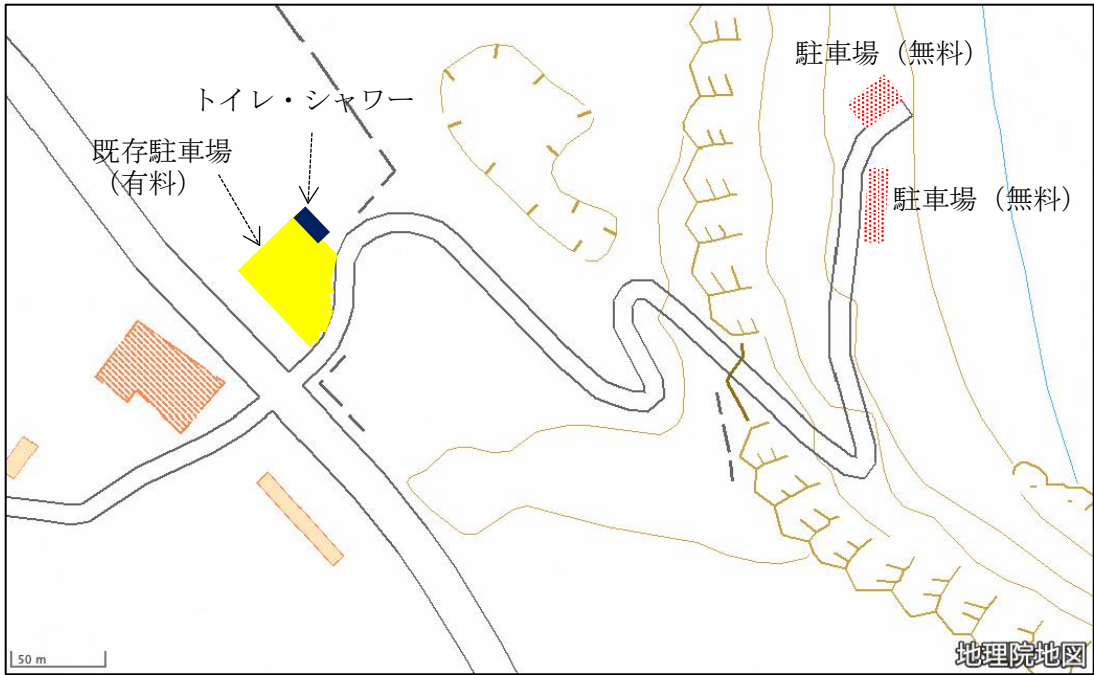
土地状況① 道路は市道である。



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
駐車場（バス）	0	×	
有料駐車場（乗用）	約 50 台分	○	
無料駐車場（乗用）	約 10 台分		ビーチ至近
自販機	2 台		
トイレ	1 箇所	△	古い
水飲み場	0		
シャワー	男女各 1 基 野外 2 基	△	古い



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

No.4 施設・地区名[前浜(エスカーサ)]

概況 現在、乗用車 40 台分程度の駐車場が整備されているが、夏季は午前 11 時を過ぎると満車になり、駐車場枠を外れて駐車する車が見られる。施設は指定管理で運営されている。

方向性① 県営公園整備事業により、駐車場を再整備予定。

方向性② トイレ、シャワールの再整備等については、県営公園整備と合せて検討する。

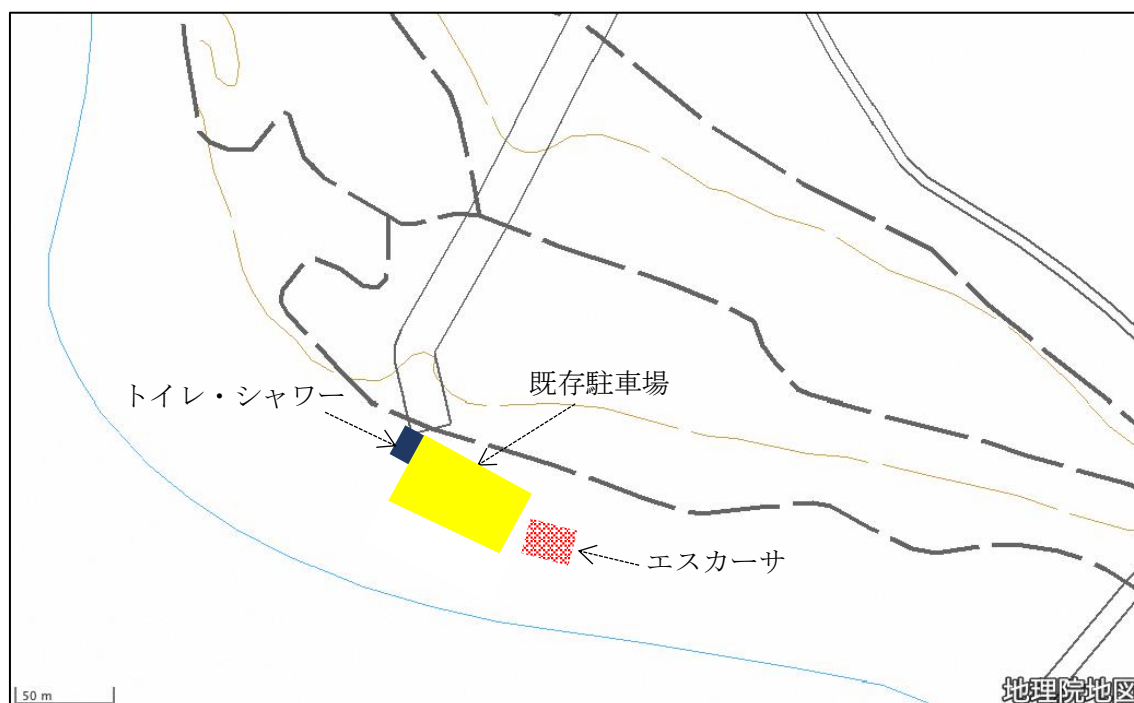
土地状況① 市有地を含む周辺区域において、都市計画決定を経て、令和 2 年度より県営公園として事業化予定。



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
駐車場（乗用）	約 40 台分	△	不足
自販機	3 台		
トイレ	1 箇所	△	古い
水飲み場	0		
シャワー	男女各 3 基	△	古い



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

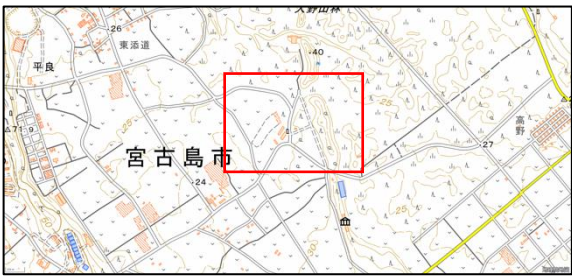


No.5 施設・地区名[熱帯植物園・体験工芸村]

概況 3箇所に分かれている駐車場が全て乗用車で満車になることはないが、クルーズ船寄港時には、第3駐車場はバスで満車になることが多い。

方向性① 施設内にバス専用駐車場の整備を検討する。

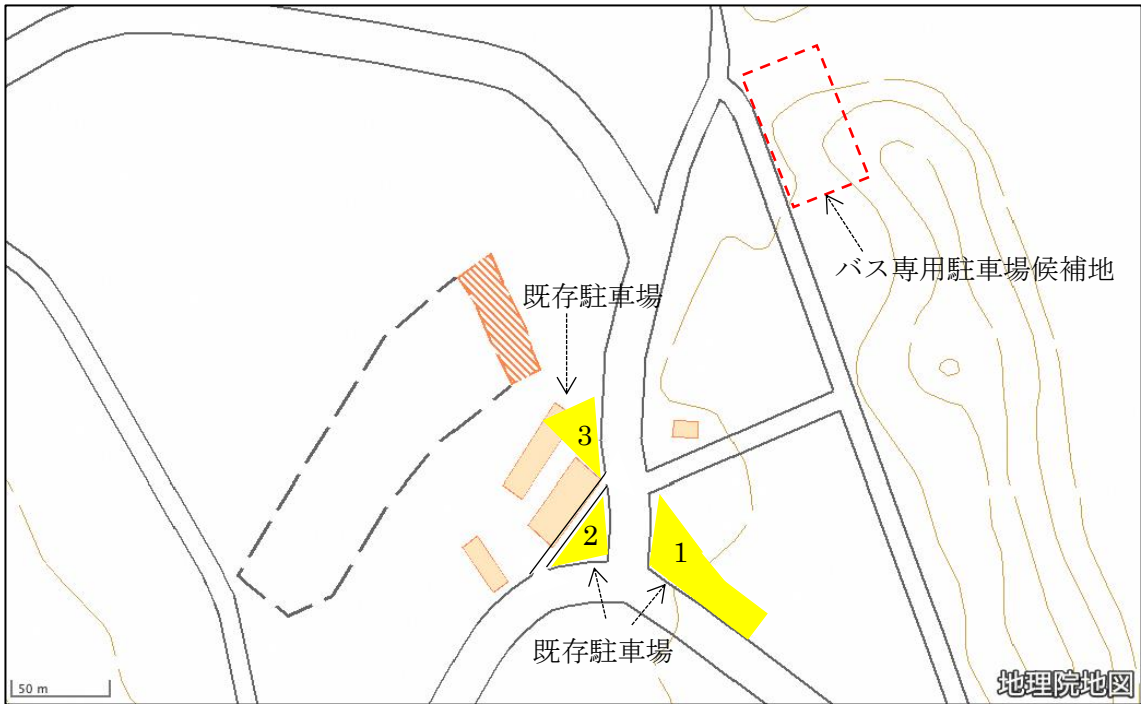
土地状況① バス専用駐車場候補地は、現在、市有地である。



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
第1P	20 台分	○	満車になることはない
第2P	10 台分	○	
第3P	乗用車 10 台 +バス 5 台	△	クルーズ船寄港時は満車になる
自販機	6 台		
トイレ	1 箇所	○	
水飲み場	0		
シャワー	0		



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

No.6 施設・地区名[中の島海岸(カヤツファ)]

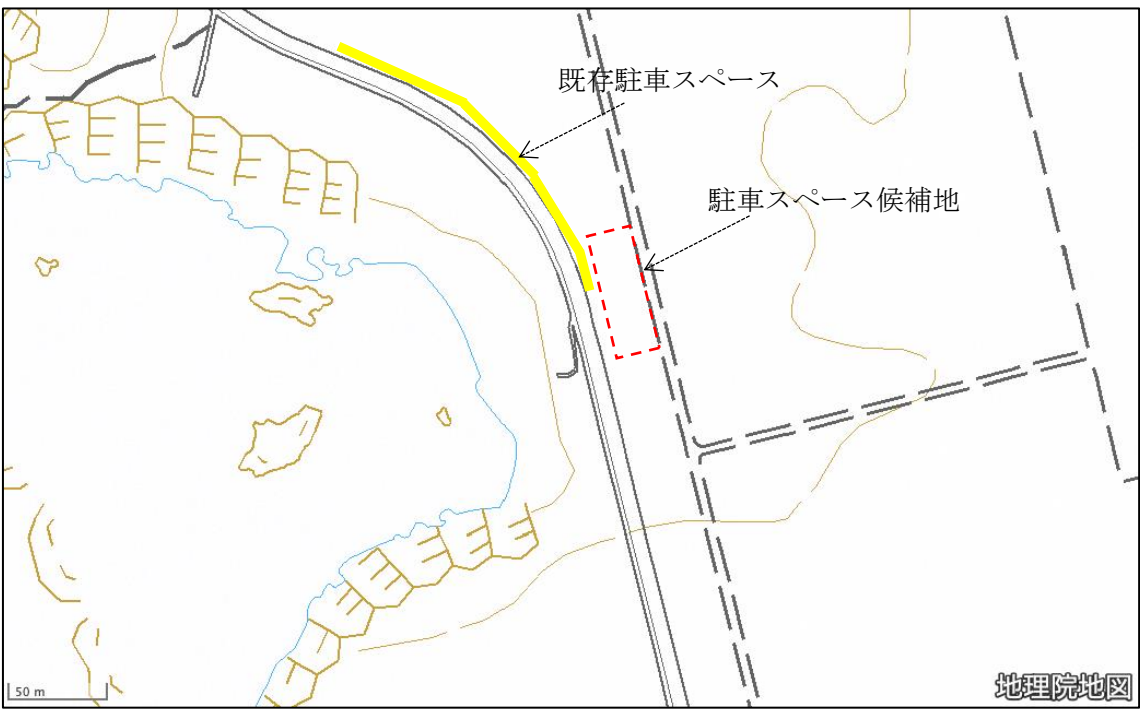
概況 道路脇を拡幅して駐車スペース（約 30 台分）を設けているが、利用者が多く路上駐車も発生している。

方向性① 離岸流による事故も時々発生しており、海岸利用のルール作りが必要。

方向性② ①実施後に、駐車場の整備等を含めて検討する。

土地状況① 駐車スペース候補地は県有地で、自然公園法の適用地である。

現状の施設整備状況			
設備	数量	評価	備考
駐車場（バス）	0	×	
駐車スペース(乗用)	約 30 台分	△	不足
自販機	0		
トイレ	0		
水飲み場	0		
シャワー	0		



出典：国土地理院 基盤整備地図 2500 分の 1 を元に作成

No.7 施設・地区名[牧山展望台]

概況 クルーズ船観光客の定番の立ち寄り先になっている。現在、乗用車の駐車スペースに余裕はある。

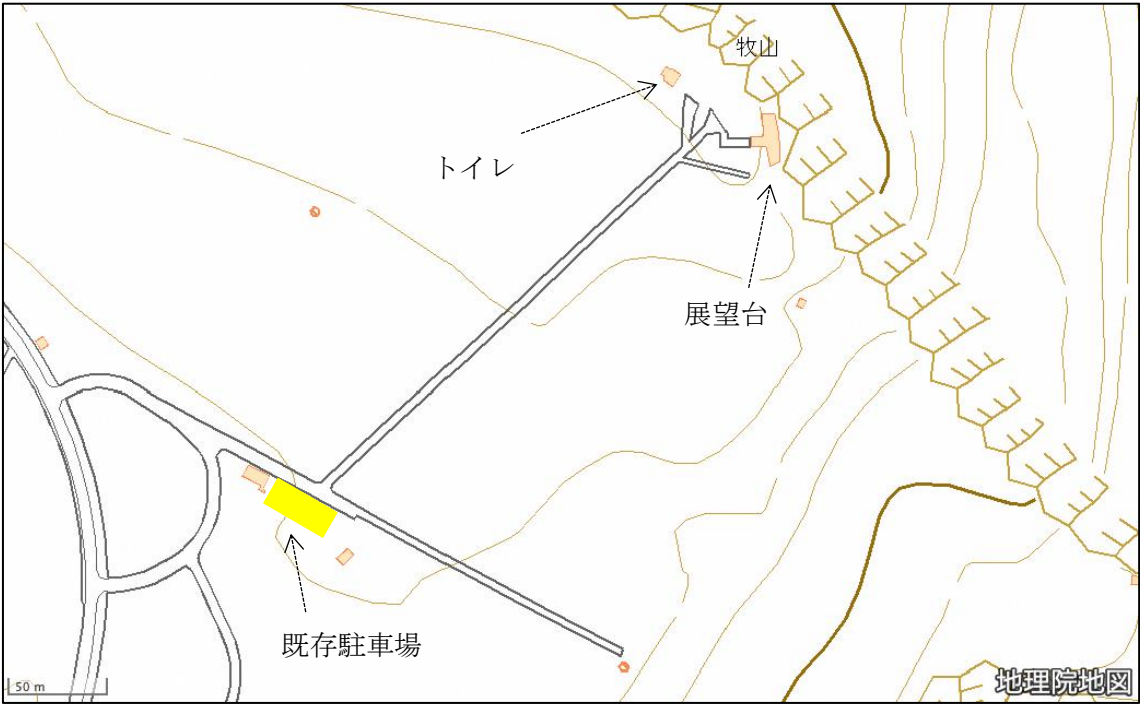
方向性① 施設全体の老朽化に対する対応を検討する必要がある。



出典：国土地理院 基盤整備地図 2500 分の 1 を元に作成

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
駐車場（バス）	3 台分		
駐車場（乗用）	約 20 台分	○	
自販機	0		
トイレ	1 箇所	△	
水飲み場	0		
シャワー	0		



出典：国土地理院 基盤整備地図 2500 分の 1 を元に作成

No.8 施設・地区名[砂山ビーチ]

概況 駐車場、トイレ、シャワーが完備されており、委託事業者が掃除をしているので管理が行き届いている。夏のピーク期には、駐車場が不足する。バスの駐車は困難。

方向性① 駐車場の拡張について、土地所有者と協議が必要。

方向性② トイレおよびシャワーの建替えについて、土地所有者と協議が必要。

土地状況① 施設用地は民有地である。

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
駐車場（バス）	0	×	
駐車場（乗用）	約 40 台分	△	不足
自販機	2 台		
トイレ	1 箇所	×	古い
水飲み場	0		
シャワー	男女各 4 基	×	



出典：国土地理院 基盤整備地図 2500 分の 1 を元に作成



出典：国土地理院 基盤整備地図 2500 分の 1 を元に作成

No.9 施設・地区名[竜宮城展望台]

概況 来訪者は多く、駐車場は常に満車状態である。

方向性① 展望台は内外壁の塗装作業を実施（令和 2 年 3 月完了予定）。

方向性② トイレを和式から洋式へ改修することで、利用者の利便性の向上を図る必要がある。

方向性③ 来間島全体の案内板の設置を検討。

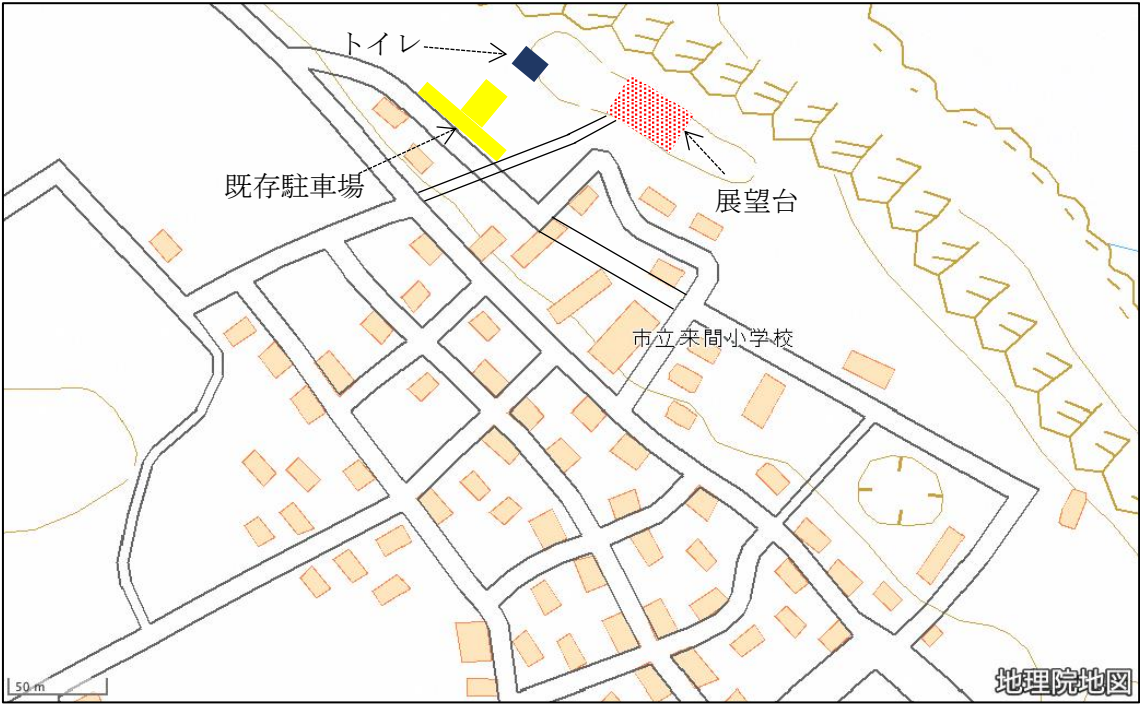
土地状況① 施設用地は市有地である。



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
駐車場（バス）	0	×	
駐車場（乗用）	約 15 台分	△	不足
自販機	0		
トイレ	1 箇所	×	古い
水飲み場	0		
シャワー	0		



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

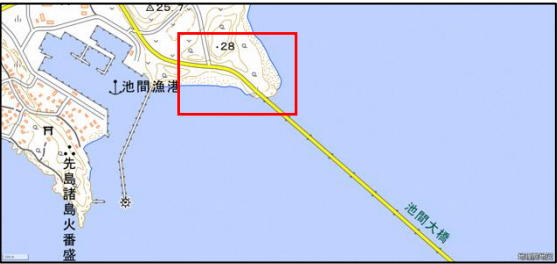
No.10 施設・地区名[池間大橋 橋詰]

概況 池間大橋橋詰にある、駐車場、トイレ、土産物屋などが一緒になった広場。大型バスは、未舗装の民間駐車場を利用している。

方向性① トイレの修繕又は建替えを検討する。

方向性② 池間島全体の案内板の設置を検討。

土地状況① 民間で未舗装の駐車場を拡張している。

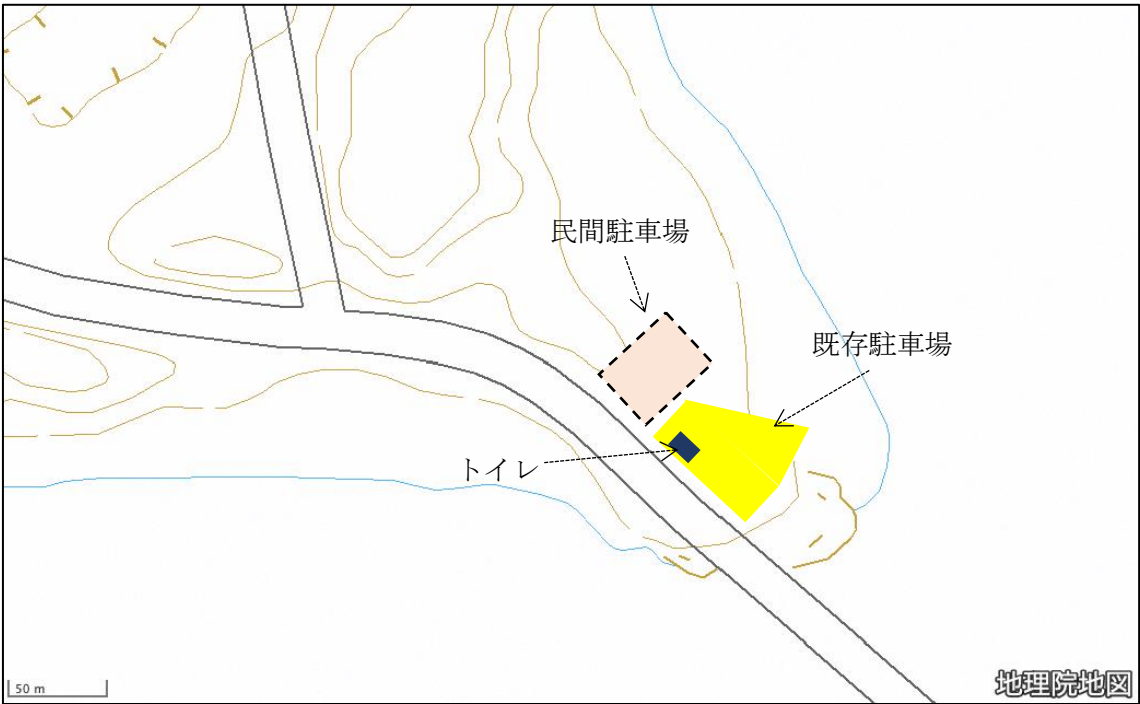


出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元で作成

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
駐車場（バス）	0	×	
駐車場（乗用）	約 20 台分	△	不足
自販機	4 台		
トイレ	1 箇所	△	古いが綺麗
水飲み場	0		
シャワー	0		

※駐車場（民間）乗用 15 台、バス 3 台程度



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元で作成

No.11 施設・地区名[パイナガマビーチ]

概況 来場者が多く、駐車場が常時満車となり、あふれた車両による路上駐車が常態化している。

方向性① 現駐車場が満車の時には、パイナガマ海空すこやか公園駐車場（乗用車 135 台、バス 2 台）へ誘導する案内板を立て、駐車車両を分散させる。

方向性② 公園全体の案内板を立て、遊歩道等を分かりやすくする。

方向性③ パイナガマビーチと海空公園を一体として、指定管理を検討する。

方向性④ パイナガマビーチと海空公園をつなぐ遊歩道（連絡通路）の再整備を検討する。



出典：国土地理院 基盤整備地図 2500 分の 1 を元に作成

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
駐車場（バス）	0	×	
駐車場（乗用）	20 台分	△	不足
自販機	2 台		
トイレ	1 箇所	△	
水飲み場	0		
シャワー	男女各 4 基 身障者用 1 基		



出典：国土地理院 基盤整備地図 2500 分の 1 を元に作成

No.12 施設・地区名[イムギャーマリンガーデン]

概況 第2・第3駐車場が空いているが、ピーク期は第1駐車場が常に満車状態で、路上駐車が多い日で10台ほど発生。マリンツアーでも約10名単位で来訪があり、シャワーとトイレが不足している。また、建屋が老朽化している。

方向性① 3つの駐車場への案内板を立て、駐車車両の分散を図る。

方向性② シャワーが男女兼用となっているため、令和2年度においてコインシャワーを1基増設し、男女別々の利用を可能にすることで、プライバシーの確保および増加する利用者の利便性の向上を図る。

方向性③ トイレを和式から洋式へ改修することで、利用者の利便性の向上を図る必要がある。

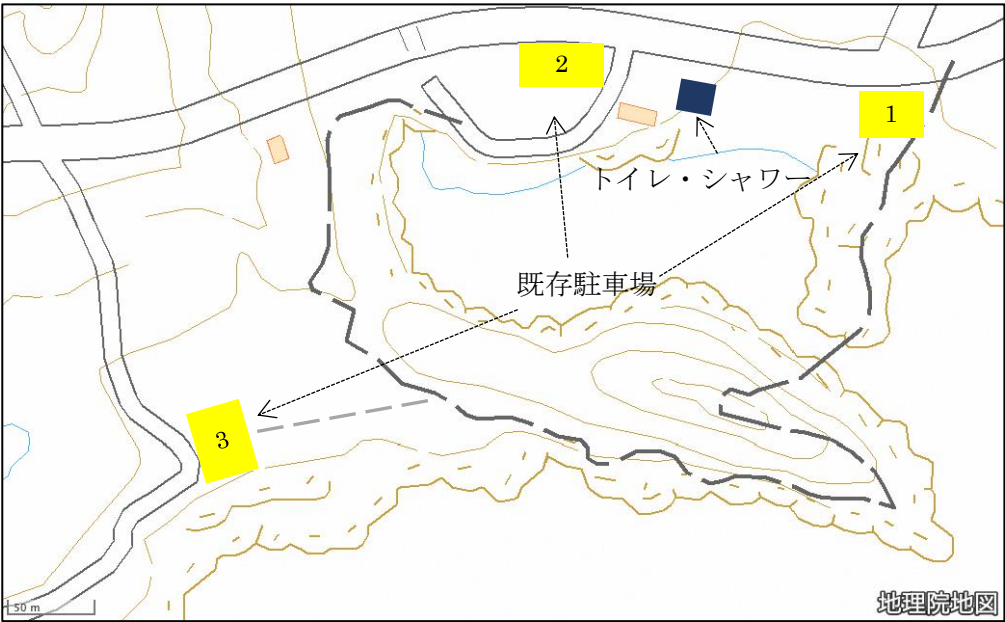
土地状況① 駐車場はいずれも市有地。



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000分の1を元に作成

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
駐車場（バス）	0	×	
第1P	約25台分	△	不足
第2P	約25台分	△	要誘導
第3P	約25台分	△	要誘導
自販機	2台		
トイレ	1箇所	×	古い
水飲み場	0		
シャワー	1基（男女兼用）		



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000分の1を元に作成

No.13 施設・地区名[海宝館]

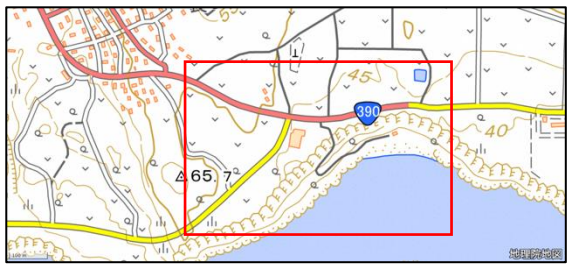
概況 現在、乗用車の駐車スペースに余裕はある。海宝館の駐車場（乗用車約 25 台、バス 4～5 台）だけでなく、保良川ビーチにも駐車場（乗用車約 25 台）がある。

方向性① 保良川ビーチへのサイン（矢印）を工夫する。

方向性② 特に大きな整備はしない。

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
駐車場（バス）	4～5 台分		
駐車場（乗用）	約 25 台分	○	
自販機	0		
トイレ	2 箇所	○	
水飲み場	0		
シャワー	0		



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

No.14 施設・地区名[東平安名崎]

概況 駐車スペースは十分にあるが、駐車を区分する白線が薄くなっている。岬の入口付近にも駐車場（乗用車約 25 台分）およびトイレがある。

方向性① 公園の長寿命化計画に基づき、植物群落の維持等を含めて、観光地の整備を検討する。

方向性② 令和 2 年度に東屋の再整備を行う予定。

土地状況① 国指定：史跡名勝天然記念物。

県指定天然記念物：東平安名崎の隆起珊瑚礁海岸風衝植物群落

市指定史跡：マムヤの屋敷跡・機織り場・墓



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
駐車場（バス）	4～5 台分	×	
駐車場（乗用）	約 60 台分	△	
自販機	3 台		
トイレ	2 箇所	○	
水飲み場	0		
シャワー	0		



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

No.15 施設・地区名[ドイツ文化村]

概況 ダンケフェスト等、イベントの日を除き、駐車場が満車になることはない。駐車場は、ドイツ文化村入口の手前等に複数ある。周辺にはホテル関係の駐車場が多数ある。

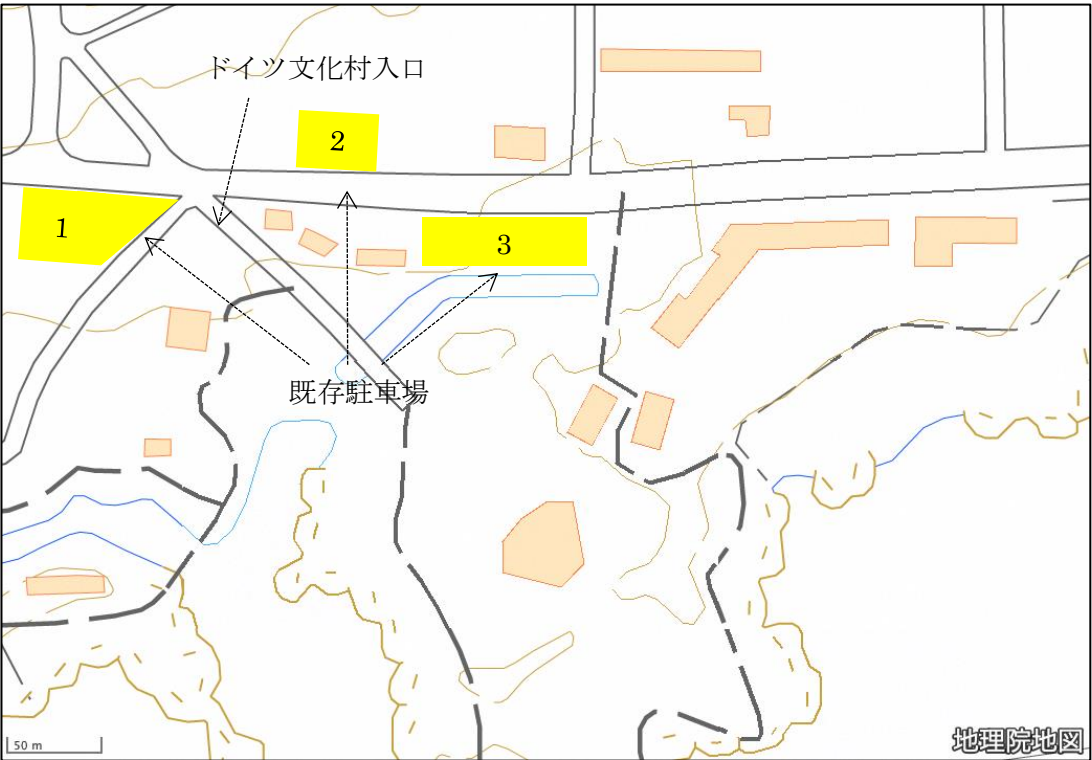
方向性① 現状維持。



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
第 1P	乗用車 50 台+バス 10 台程度	○	未舗装
第 2P	乗用車 40 台+バス 10 台程度	○	未舗装
第 3P	乗用車 80 台程度	○	
自販機	4 台		
トイレ	2 箇所	○	
水飲み場	0		
シャワー	0		



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

No.16 施設・地区名[新城海岸]

概況 市の無料の駐車場（第1～第3）は早い時間から満車状態になり、後から来た人は民間の有料駐車場を使っている。

方向性① トイレ・コインシャワーの設置（整備中）。令和2年3月完成予定。

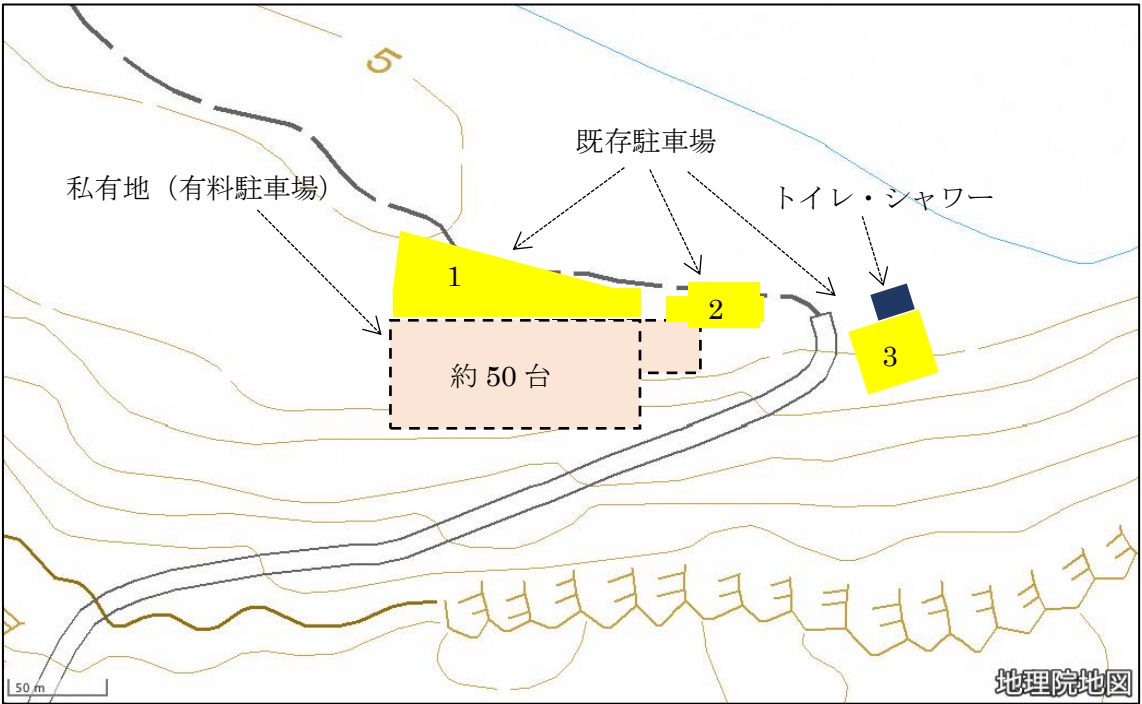


出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
駐車場（バス）	0	×	
第1P	約 15 台分	△	
第2P	約 10 台分		
第3P	約 15 台分		
自販機	0		
トイレ	1 箇所	○	
水飲み場	0		
シャワー	男女各 3 基		

※民間駐車場約 50 台分あり



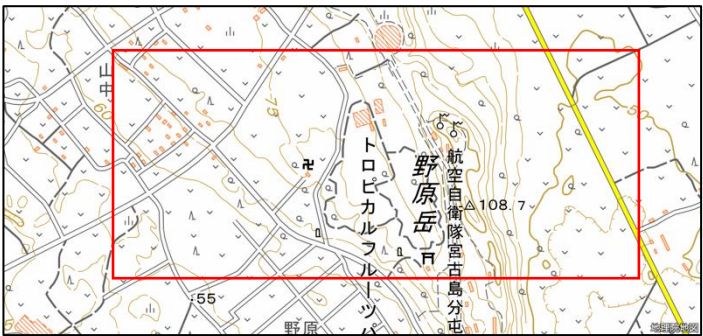
出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

No.17 施設・地区名[トロピカルフルーツパーク]

概況 現在、トロピカルフルーツパークを整備予定。令和 2 年に実施設計を予定。

方向性① 令和 3 年に整備計画を策定予定。

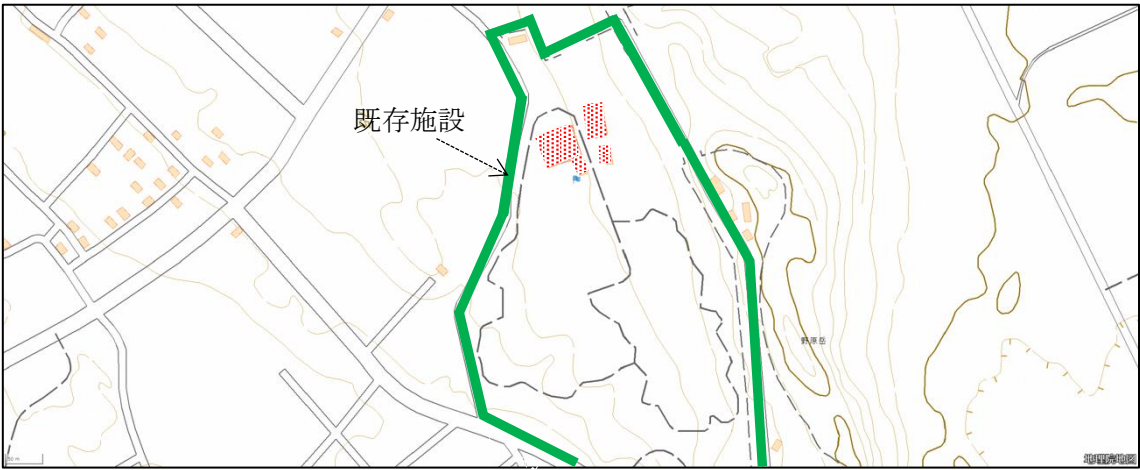
土地状況① 市有地。



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
駐車場（バス）	約 5 台	○	
駐車場（乗用）	約 20 台	○	
自販機	0		
トイレ	0		
水飲み場	0		
シャワー	0		



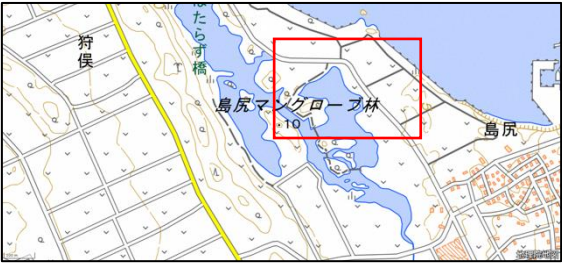
出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

No.18 施設・地区名[島尻マングローブ林]

概況 現在、乗用車の駐車スペースに余裕はある。

方向性① バイオトイレの廃止を検討。

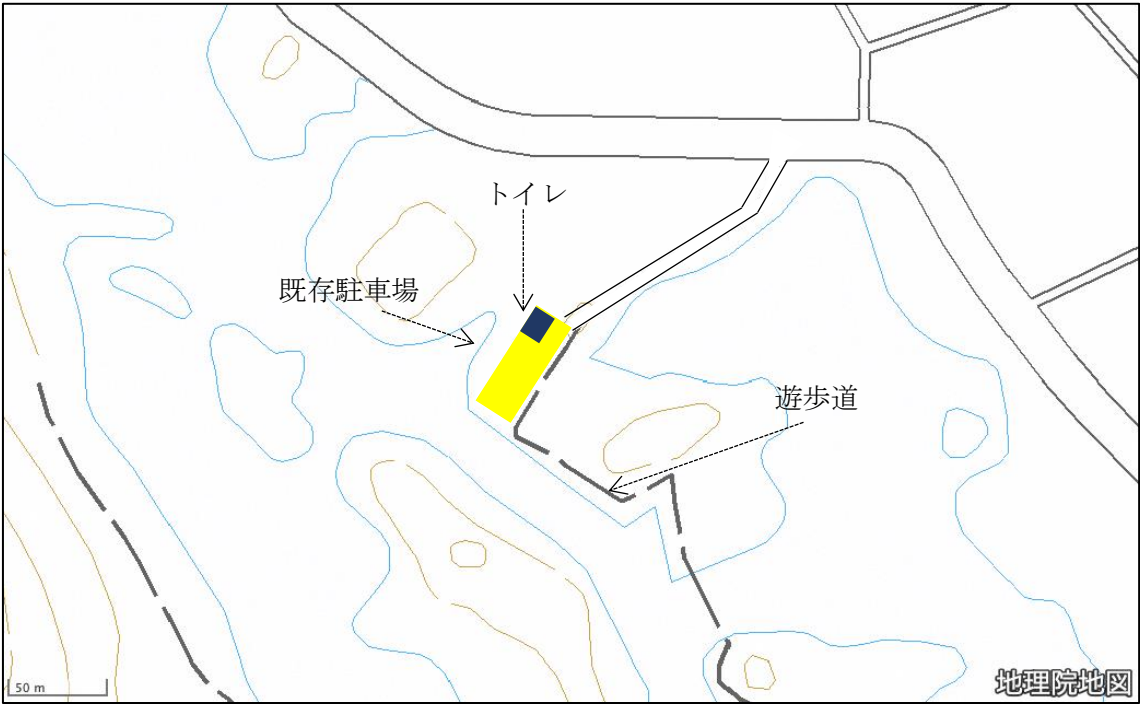
土地状況① トイレ施設設置場所に一部、民有地がある。



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
駐車場（バス）	約 5 台分	○	
駐車場（乗用）	約 20 台分	○	
自販機	0		
トイレ	1 箇所	△	
水飲み場	1		
シャワー	0		



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

No.19 施設・地区名[フナクスビーチ]

概況 駐車場はさほど広くはないが、路上駐車であふれることはない。トイレが故障している。

方向性① バイオトイレの廃止を検討。

方向性② トイレ等の施設は、維持管理等を考え、池間大橋橋詰に集約することを検討する。



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

現状の施設整備状況

設備	数量	評価	備考
駐車場（バス）	0	×	
駐車場（乗用）	約 15 台分		
自販機	0		
トイレ	1 箇所	×	
水飲み場	0		
シャワー	0		



出典：国土地理院 基盤整備地図 25000 分の 1 を元に作成

3 スケジュール

地区	No	主要インフラ	優先度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
下地	1	前浜（港）	A	→		
伊良部	2	17 エンド	A	→		
城辺	3	吉野海岸	A	→		
下地	4	前浜（エスカーサ）	B			→
平良	5	熱帯植物園・体験工芸村	B			→
伊良部	6	中の島海岸（カヤッファ）	C	←	方針検討	→
伊良部	7	牧山展望台	C	←	方針検討	→
平良	8	砂山ビーチ	C	←	方針検討	→
下地	9	竜宮城展望台	C	←	方針検討	→
平良	10	池間大橋 橋詰	C	←	方針検討	→
平良	11	パイナガマビーチ	D	←	→	
城辺	12	イムギーマリンガーデン	D	←	→	
城辺	13	海宝館	D	←	→	
城辺	14	東平安名崎	E			
上野	15	ドイツ文化村	E			
城辺	16	新城海岸	F	↔		
上野	17	トロピカルフルーツパーク	F	←	→	→
平良	18	島尻マングローブ林	G	←	廃止検討	→
平良	19	フナクスビーチ	G	←	廃止検討	→

優先度の記号	整備の位置づけ
A	重要・緊急度高（目安1～2年以内に整備）
B	重要（目安3～5年以内に整備）
C	整備方針を検討
D	早期着手可能
E	現状維持
F	整備進行中
G	整備自体を見直し

4 計画の推進と進捗管理

沖縄県は、平成 24 年 5 月に「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」を策定し、宮古圏域において「広域的レクリエーション需要に対応した広域公園の整備」の計画づくりに取り組んでいる。計画では、宮古島の誇る、自然豊かで美しい「海と海辺を活かした公園」をコンセプトとして、与那覇前浜付近を公園候補地として選定し、「宮古広域公園(仮称)基本構想」を策定した。

本市において駐車場等の整備が特に喫緊の課題となっている前浜地区の整備に関しては、県の公園整備と連動した課題解決の方策を検討することが望ましいと考える。

それ以外の主要インフラの整備については、それぞれの優先度に応じて対応を検討し、実行していくことになるが、それぞれの進捗状況に関しては、宮古島市観光推進協議会において確認し、評価をしていくことになる。

基本構造の概要

1. 基本理念

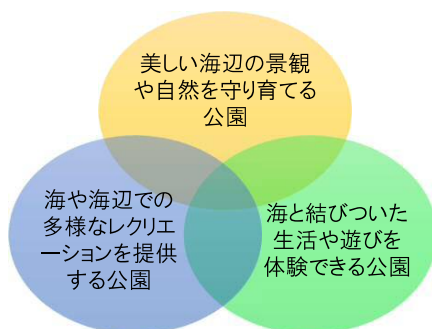
◆公園のテーマ

海と海辺を活かした公園

『(仮称) ミャークヌ・オー・イム・パーク』

※宮古島の方言で、(宮古の青い海公園) という意味です。

2. 公園の目標像



3. 基本方針

自然と景観に関する方針

・宮古の美しい海と海辺の自然や景観
を守り育てる公園を目指します。

利用・活用に関する方針

・日常利用から観光・スポーツ利用な
ど幅広い用途に柔軟に対応します。

整備に関する方針

・多くの方に役立ち、みんなでつくり
管理する公園づくりを行います。

出典：「宮古広域公園の概要」（沖縄県）

**宮古島市における重点的に整備すべき
観光地の主要インフラ整備計画**

令和 2 年 3 月

発行：宮古島市 観光商工部 観光商工課
〒906-0012 沖縄県宮古島市平良字西里 187 番地
TEL 0980-73-2690

